平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	7	事業No.	8		
事務事業名	シティプロモーション推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	ＩＩＤＡブランド推進課	開始	H26	終了	H29

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画		飯田市情報化基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民及び市外の人
	意図	飯田市に関心を持つ人を増やし、関心を持った市民や市外の人と一緒になって市の魅力を発信したり、プロモーション活動を行い、シビックプライドを醸成しつつ、飯田の知名度を高めます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	①リニア開通時に国内外から飯田の魅力が認知されている必要があります。 ②人口規模の大きな首都圏や関西圏での認知度が高まるよう、プロモーション活動を加速する必要があります。 ③多額の広告費を費やせない中で、飯田市との関係性やネットワークを最大限に活用した取組を進める必要があります。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
①シビックプライドの醸成 ・市民や飯田市に関心を持っている市外のファンの皆さんと一緒になって魅力発信活動に取り組みます。 ②プロモーションツールの研究・開発・活用 ・飯田市に関心を持ってもらうためのプロモーションツール（冊子、WEB、SNS、動画）を研究し、開発及び活用します。 ③プロモーション活動の展開 ・メディア関係者や飯田関係者への営業活動を強化して、飯田市のメディア露出を高めたり、飯田ファンとの関係性を構築します。特に首都圏や中京圏等を強化します。 ・2018年、飯田市で開催するAVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会に向けたプロモーション活動を開始します。	飯田の魅力発信講座（ｼﾋﾞｯｸﾌﾟﾗｲﾄﾞ醸成）	600
	プロモーションツール制作（更新含む）	800
	飯田市徹底ガイド（別冊KURA）発行	3,780
	首都圏等プロモーション活動	2,110
	ICT活用戦略懇談会	548
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
魅力発信講座の開催	回/年	10			
飯田市徹底ガイド（別冊KURA）発行	部数	30,000			
プロモーションツールの更新・配布	部数	6,000			
首都圏等のメディア関係者への営業活動	回/年	24			
ICT活用戦略懇談会	回/年	3			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	7,838	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	7,838	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	2	10	4	7,838 / 0	シティプロモーション推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 8　　事業名 シティプロモーション推進事業　　ＩＩＤＡブランド推進課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	7	事業No.	47		
会計	一般会計				
事務事業名	リニア地域づくり推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	ＩＩＤＡブランド推進課	開始	H28	終了	H29

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	国内外の人
	意図	飯田市の多様な資源や人材により惹きつける

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	1 【ブランディング】国内はもとより海外も意識した情報発信により国際化への対応を強化する必要があります。 2 【交流居住】外部人材と地域とのネットワーク化を進め、多様な学びの場を共創します。 3 【南信州次世代会議】具体的なテーマに基づく活動が展開中。自立に向けての体制づくりが課題です。

29年度取組

取組内容

リニア開業を見据え、地域のブランド力を高めるために、地域の国際対応力強化を視野に入れた、情報発信を行います。
　外部人材と地域とのネットワークを拡大するとともに、外部人材の専門性を活かした学びの場を開催できる仕組みづくりを行います。
　また、リニア時代のまちづくりの中核を担う若い世代が、自分たちの目指す地域像の実現に向けて、具体的な活動につなげていく南信州次世代会議を支援します。

経費の内容	事業費(千円)
リニア未来都市ブランディング事業	8,156
交流居住支援事業	1,190
南信州次世代会議負担金	300
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
リニア未来都市ブランディング事業	式	1			
交流居住セミナー	回	5			
南信州次世代会議個別事業	事業	5			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	9,646	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	9,646	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	6	9,646 / 0	リニア地域づくり推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 47　事業名 リニア地域づくり推進事業　　ＩＩＤＡブランド推進課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			×	×	×	×	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況